

健康経営優良法人認定取得 プロジェクトレポート

MEITETSU & RELO CLUB

Presented by  福利厚生倶楽部中部
FUKURI KOSEI CLUB CHUBU

2025年

目次

概要

健康経営優良法人認定取得を目指したキツカケ

理想の健康経営を実現するために

当社の取り組み



概要



本資料では当社の健康経営の取り組みへの
想い、目標、取り組み内容について紹介しています。



2025

健康経営優良法人

KENKO Investment for Health

中小規模法人部門

ネクストブライト1000

Point 1

健康への強い想いを形にするための施策

それが「健康経営」

Point 2

理想の健康経営を実現するために

「環境づくり」を徹底

健康経営優良法人認定取得を
目指したキツカケ

健康経営優良法人認定取得を目指したキッカケ

代表取締役の健康に対する強い思い

元気に楽しく仕事をしてほしい

定年後も人生を謳歌できる身体を維持してほしい

若いうちから健康管理に目を向けてほしい



健康への強い思いを実現するために健康経営優良法人認定取得に着手

健康経営優良法人認定取得を目指したキッカケ

当社の「MISSION」「行動基準」に基づき、働く人たちの健康を支援



MISSION

働く人たちの、
明日の活力と幸せを支援し続ける。



行動基準

健康支援サービスを顧客に提供し、
顧客の良き相談相手となること

当社の「MISSION」「行動基準」に沿った「健康宣言」を策定

健康宣言

「働く人たちの、明日の活力と幸せを支援し続ける。」という経営理念は、お客様である企業様は当然のことながら、当社社員においても「働く人たち」のひとりとして充実した毎日を過ごしていただきたいとの想いで掲げています。

充実した毎日を過ごすためには、社員一人ひとりが心身共に健康であり、そういった社員が活躍してくれることが、健全で継続的な会社の成長につながるものと考えております。一人ひとりが仕事にやりがいを感じ、能力を最大限に発揮することができる職場環境を目指し、全社一丸となり健康づくりを推進いたします。

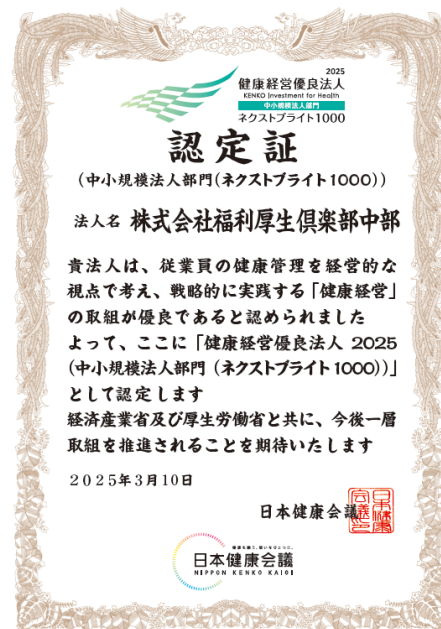
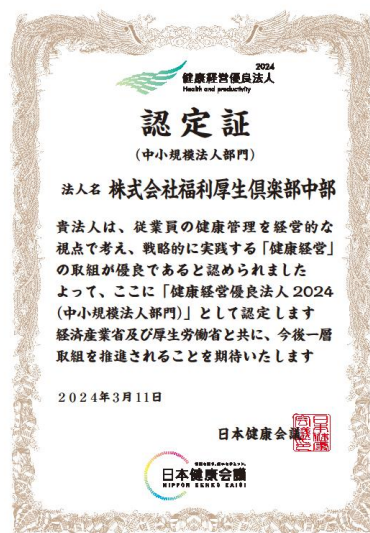
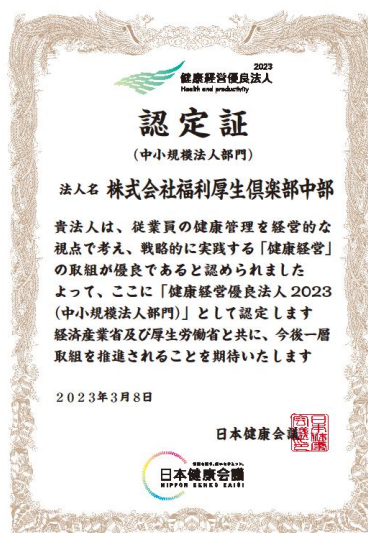
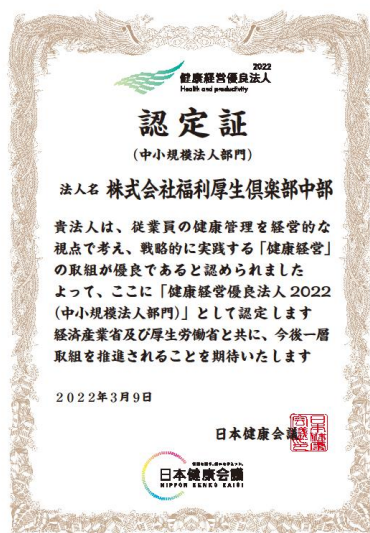
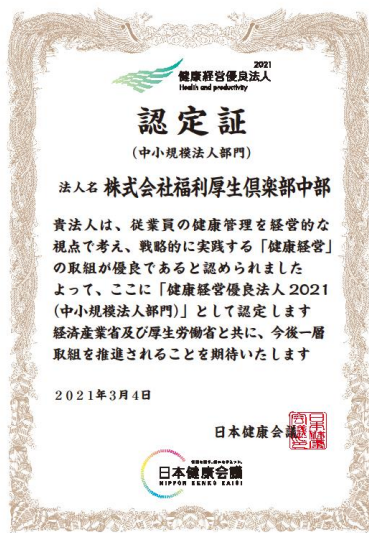
また、当社の健康に関する様々な事業活動を通じて、会員企業様とその従業員の皆様をはじめ、多くの方々の健康づくりをサポートし、社会に貢献してまいります。

株式会社福利厚生倶楽部中部 代表取締役 丹羽 孝志

働く人たちの健康を支援することで社会に貢献

5年連続で健康経営優良法人を取得

健康経営優良法人2025(中小規模法人部門(ネクストブライツ1000))認定を取得



メディア掲載実績

経済産業省

中小規模法人部門 取り組み事例集

(健康経営優良法人2024)に掲載されました。

健康経営優良法人

2024

中小規模法人部門

05 従業員による主体的な健康づくりの発信から組織を活性化



株式会社福利厚生倶楽部中部



業種 > 複合サービス事業

所在地 愛知県

URL <https://www.fukuri-chubu.net>

従業員数 > 32名

きっかけ

若い世代の将来に向けた健康づくりを支援

30代の若い従業員が多く、運動習慣が無い、栄養バランスのとれた食生活が出来ていないなど健康意識の低い従業員が多い状況であった。そこで、従業員の健康・企業としての成長を考えた際、今の若い従業員が40・50歳になった際に健康問題で後悔することがないように出来ることは無いかを考え、健康経営に取り組むようになった。



健康経営の実践による効果

健康イベントをきっかけに従業員の主体的な健康意識向上

健康アプリを活用したイベントを開催したことで、イベント期間中に運動や栄養バランスの取れた食生活を心掛けるようになるに留まらず、イベント実施後も従業員から「家庭でも食生活の改善を実施するようになった」という声や、「ジムに通い始めた」という声を聞くようになり、徐々に従業員が主体的に健康づくりに取り組むようになってきたと実感している。



【2023年度の取り組み(健康経営の推進計画)】

具体的な取り組みのPDCA

自社の課題	取り組み概要
30代の若い従業員が多く、健康に関する危機意識が低い。企業として従業員が若い頃から、健康意識を高めていかなければならないという課題があった。	年に2回、健康アプリを活用したイベントを開催している。その際、イベントのマンネリ化や上位者の固定化を防ぐため、イベントごとに食・運動などのテーマを変えている他、チーム対抗性にしたうえで、各チームの取り組み内容をレポート形式でまとめ、全社に共有するなどの取り組みを行った。
取り組みの結果	成果(課題の改善状況)
<ul style="list-style-type: none">チームで取り組み内容を決めて実施することで取り組みへの参画意識が高まった。効果上げるためにはどのようなことに気をつけなければならないかと自分たちで考え、主体的に行動する従業員が増えたことで、従業員の健康意識向上に繋がった。イベント開催後に健康意識調査したところ、イベントのテーマに応じて、「70%の従業員が運動意識の大切さを実感した」、「54%の従業員がバランスの良い食事の重要性に繋がった」と回答するなど、従業員の健康意識向上につながった。	今後は健康管理を見直すきっかけとして、年に2回実施している健康イベントを継続して行い、全従業員が若い頃から主体的に健康経営に取り組むことにより、アプレンティイズムの予防やプレゼンティイズムの改善に繋がってほしい。

☑ 取り組みのポイント

▶ポイント①

▶ポイント②

健康経営を推進している事務局が取り組み内容を全て決定し発信するのではなく、従業員自身が取り組み内容を考える余地を残し、従業員自身が発信することで、健康経営の取り組みに主体的に参加する従業員を増やすことができています。

健康アプリを活用したイベントの際、チームごとに分かれて運動や食生活の改善に取り組むことで、健康意識が高い従業員の機動的な取り組みを健康意識が低い従業員にも展開することができると、結果的に従業員全体の健康意識向上を促すことができています。

健康経営優良法人認定取得までの道のり

5年連続健康経営優良法人認定取得までの道のり

Step1 2020



総務担当が中心となり取得
会社全体の一体感が薄く社員
1人1人の主体性の欠如が課題

Step2 2021



プロジェクトチームを発足して取得
チームで考え、取り組む体制づくり
自社の課題・挑戦を共有、明確化
社内制度の改変

Step3 2022~



社員参加型健康イベントを実施して取得
自分たちで企画・実践するイベントを
継続して実施することで、社内に
健康経営が浸透

Step4 2024~

当社の健康経営の取り組みを
ホームページに公表・経済産業省の
事例集に掲載 当社の取り組みを発信

継続して取得するには会社・社員 双方の理解が重要

理想の健康経営を実現するために

理想の健康経営を実現するために

理想の健康経営のための3つの目標

状態目標

ありたい理想の姿



健康的な身体を
継続的に維持

結果目標

達成したいゴール



社員が健康経営の重要性を
理解し全員で取り組む会社へ

行動目標

状態目標・結果目標を実現する行動

1

健康づくり体制の強化

2

アブセンティーズムの予防
プレゼンティーズムの減少

3

働きやすい労働環境をつくる

4

コミュニケーションの活性化
メンタル不調の予防

健康経営を社内に浸透させるために明確な行動目標を策定

自主的な健康づくりのための土台づくり

01

健康意識の向上



健康経営アドバイザー資格取得
健康アプリの活用・健康意識アンケートの実施

02

健康イベントの実施



チーム制の健康イベントに健康アプリを活用

03

表彰制度の活用



健康に関するインセンティブポイントを設定

04

健康づくりの情報発信



自社の健康経営の取り組みを
HPIに掲載・資料を作成、発信

社員の理解・自主性の養成

健康問題発生と休業状態を未然に防ぐ

01

健診有所見者の減少



再検査率100%を目標
再検査費用をカフェテリアプランで一部補助

02

重症化予防・早期発見



人間ドック・がん検診を
カフェテリアプランで一部補助

03

生活習慣の改善



食事のカロリー管理に健康アプリを活用
運動増進イベントの開催

04

喫煙比率の低下



喫煙率の調査
禁煙達成インセンティブの策定

健康問題を発生させない・重症化させない仕組みづくり

“働きやすい”を支援する制度策定

01

残業時間Down・有休取得Up



ノー残業デーの実施
有休取得の推進

02

柔軟な働き方への対応



在宅勤務制度
時差出勤制度

働きやすい労働環境をつくることでWLBを実現

心の健康のための施策

01

コミュニケーションの活性化



サンクスカードで称賛文化を醸成
部署の垣根を超えた交流

02

メンタル不調の予防



エンゲージメントサーベイの実施
メンタルヘルス登録相談機関との提携

1人で”抱え込まない・抱え込ませない”を会社全体で徹底



当社の取り組み



具体的な取り組み

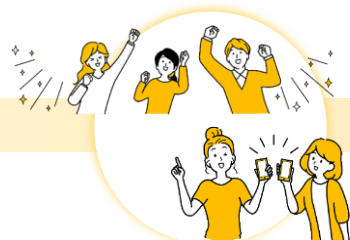
課題を明確化し、できることから少しずつ着手

健康表彰の新設
称賛文化の醸成

福利厚生制度として
健康増進を支援

個人の健康管理
健康イベントの開催
健康情報の発信

メンタル面の
チェック・サポート
健康経営の効果測定



2019年4月
ポイント付サックスカード&
インセンティブ(表彰制度)
導入

2019年10月
カフェテリア
プラン導入

2019年11月
Relo健康サポート
アプリ導入

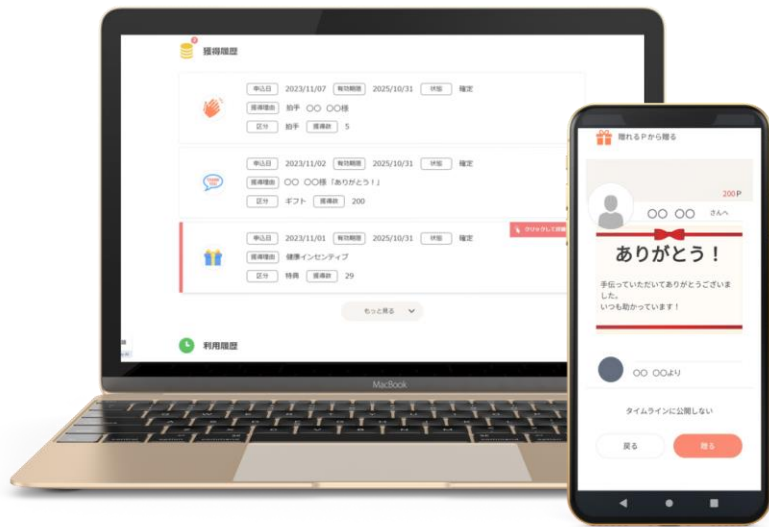
2022年11月
Reloエンゲージメンタル
サーバイ導入

全社一丸となって
健康づくりを推進し続けます

健康経営の社内浸透に向けて今後も活動を継続

ポイント付サクスカード & インセンティブ(表彰制度)で健康表彰の新設

利便性の高い福利厚生倶楽部のオリジナルポイント 「クラブギフト」を使った報奨・表彰制度構築サービス



ポイント付サクスカード & インセンティブ
(表彰制度)

Point 1

「ポイント名」「表彰内容」「ポイント数」など
カスタマイズ性の高い社内制度を簡単構築

Point 2

定着が困難なサクスカードに「ポイント」
を付与することで称賛文化の醸成を支援

インセンティブ&レコグニションの活用法

課題

健康管理を支援したいけど、
どうすれば…

社内間交流を後押ししたいけど、
なにかないかな…



解決策

01

健康インセンティブ設定で目標を視える化

1日平均7,000歩以上達成で500ポイント付与、
禁煙達成で5,000ポイント付与などを設定すること
で当社として推進する健康分野を明確化し支援



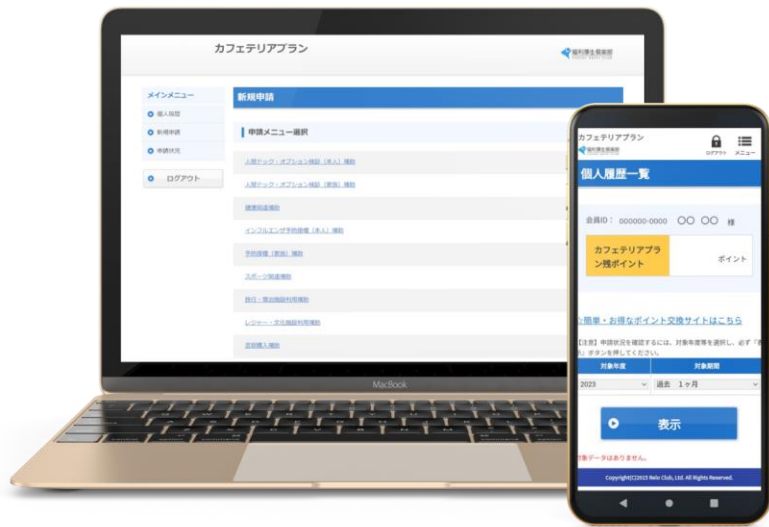
社内間交流の活性化

02

自分では使えない“贈る”専用のポイントがあること
でサンクスカードの定着化に成功。“部署”という隔た
りがなくなり、シームレスな職場づくりに貢献

カフェテリアプランで健康増進を支援

個社で設定した福利厚生メニューを従業員が選択し、
割り当てられた補助金の範囲で利用する選択型福利厚生制度



カフェテリアプラン

Point 1

従業員ニーズ・強化したいカテゴリーなどを加味したオリジナルメニューが構築可能

Point 2

補助金を一定額にすることで
費用を平等に分配

カフェテリアプランの活用法

課題

健診の再検査受診を促進する
施策があれば…

重症化予防の施策を設けたいけど…



解決策

01

メニュー構築・還元率アップで受診を促進
健康診断で再検査・要精密検査となった際の再検査
代の補助を拡充・ポイント還元率を1.5倍にすること
で受診率向上に期待。

健康の継続支援

02

カフェテリアプラン導入当初から設定している予防
接種補助・スポーツ関連補助で継続して社員の健康
を支援

Relo健康サポートアプリ「カロママ プラス」で個人の健康管理をサポート

健康をもっと楽しく、簡単に、
スマートフォンひとつで始められる健康管理



Relo健康サポートアプリ

Point 1

食事、運動、睡眠などのライフログ機能を
徹底簡素化

Point 2

健康管理のモチベーション維持に繋がる
健康インセンティブ機能

Relo健康サポートアプリの活用法

課題

健康意識を高める情報を発信
したいけど、どうすれば…

運動や食生活を見直すきっかけと
なるイベントを開催したいなあ…



解決策

01 Relo健康サポートアプリで健康意識改革

Relo健康サポートアプリを使ってチーム制健康イベントを実施。社員1人1人が“健康”について考える機会の提供を実現

02 健康管理のコツ “継続”

Relo健康サポートアプリの簡素化されたライフログ機能で健康管理の継続を支援。

Reloエンゲージメンタルサーベイで健康経営の効果測定

Reloエンゲージメンタルサーベイとは「ストレスチェック」「エンゲージメントサーベイ」「ES調査」をワンストップで可視化する組織診断ツール



RELO CLUB エンゲージメンタル
サーベイ

Point 1

ストレスチェック57項目に加え、
オリジナル設問97項目で心の健康を把握

Point 2

部署別、世代別、性別など多様な
カテゴリ別で分析可能

Reloエンゲージメンタルサーベイの活用法

課題

社員の健康に対する意識は？

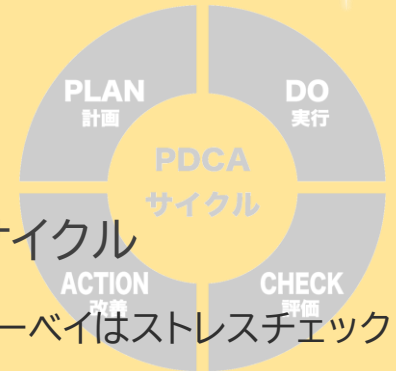
目には見えない心の健康は？



解決策

01

PDCAサイクル



Reloエンゲージメンタルサーベイはストレスチェックに加え、アンケート機能も付帯。健康イベントなど実施した施策の満足度調査を実施し、次年度計画に活かすことで健康経営のPDCAサイクルを本格稼働



健康経営を意識した設問

健康経営優良法人申請書のチェック項目「朝食欠食率」「喫煙率」などのオリジナル設問を設定

02

健康経営を浸透させるには継続が不可欠であり
継続するための工夫が必要



2025

健康経営優良法人

KENKO Investment for Health

中小規模法人部門

ネクストブライト1000

Point 1

継続して取り組むことで

「健康経営」が会社全体に浸透

Point 2

継続するための工夫をし続けることで

「PDCAの円滑化」に成功



健康経営への取り組みへの第一歩
継続的な浸透に向けてお手伝いいたします。

当社ホームページで健康経営の取り組みを掲載中



食生活の改善・運動機会の増進



日々の食事や運動、睡眠等の記録が出来る「ReLo健康サポートアプリ」を社員に提供しています。

また、年に2回、アプリを活用しチーム戦で健康管理ポイントと平均歩数を競うイベントを開催しています。

「不足がちな栄養素を意識して摂ってみよう」「運動不足を解消しよう」など毎回テーマを設けて、食生活や運動について見直しをする期間をすることで、社員同士でコミュニケーションを取りながらバランスの良い食事を摂るためにはどうすれば良いか、日常生活に運動を取り入れるためにはどうしたら良いだろうかと自分たちで考え、実践することで健康意識の向上に繋がっています。

その取り組みが評価され、中小規模法人部門 取り組み事例集(健康経営優良法人 2024)に掲載されました。



健康イベント期間中、食事バランスを考えるきっかけとなるような食事サポートを実施



運動タイムの様子



肩こり、腰痛予防のため昇降デスクを設置

これまでに弊社で実施した健康イベントの様子をご紹介します。



健康セミナーの開催(2025年1月)

2025年1月22日「健診結果向上」「健康寿命を延ばすための野菜摂取」についての健康セミナーを開催しました。第一部の「健診結果向上」では血圧・血糖・脂質を中心に健康診断結果を改善するためのポイント 第二部の「野菜摂取」については、ベジチェックを実施し、健...



名古屋鉄道創立130周年記念親睦リレーマラソン大会に参加(2025年1月)

2025年1月18日 野外民族博物館リトルワールドにて、名古屋鉄道創立130周年記念親睦リレーマラソンが開催され、名鉄グループ総勢1300人が参加。福利厚生倶楽部中部のメンバーも「福利厚生倶楽部中部マラソンチャレンジ部」として8名が世界4周リレーマラソンに...



健康イベント(2024年9月実施)

2024年9月に実施した健康イベントで、肩こりや腰痛の改善を目指し、「肩」チームごとに考えて実践しました。



お問い合わせ先

電話・メールでのお問い合わせ

サービスの詳細など、ご質問やご相談は下記までお問い合わせください。
お問い合わせの際は番号をよくお確かめの上おかけいただきますようお願い申し上げます。



TEL : 052-884-2297

受付時間 : 平日9:00~18:00まで(土日祝休み)



MAIL : hk_sales@fukuri-chubu.co.jp

受付時間 : 平日9:00~18:00まで(土日祝休み)

ご不明点はお気軽にお問い合わせください。

